

3R瓦版（6月号）

負けるな!
エコ300くん
作:フジコイトウ



© 2017 フジコ イトウ All Rights Reserved.

三重県 紀北町に移住して実感！田舎町の実情

惚れ込んだ田舎町「紀北町」に移住

私は昨年 10 月より三重県南部に位置する町「紀北町」で、地域おこし協力隊の仕事に就いています。(某テレビ番組で「美咲ちゃん」が活躍していた仕事ですね)仕事は移住・定住促進業務が担当なのですが、じつは自身もこの町に魅せられ、神奈川県から移住を決断したひとりです！

はじめて知る田舎生活の環境面…例えば排水処理設備

都市部を離れば珍しい話ですが、紀北町には下水道設備がありません。そのため宅内排水の処理方法は何通りもあり、近年建築する住宅の場合「合併浄化槽」の設置が基本です。

しかし私の住居(借家)は築約 50 年と古く、トイレ排水は「単独浄化槽」、それ以外の宅内排水は「雑排水浸透枳」で処理されます。

- 合併浄化槽:宅内排水全てを浄化して河川等へ放流する設備
- 単独浄化槽:トイレ排水のみを浄化して河川等へ放流する設備
- 雑排水浸透枳:トイレ以外の宅内排水を一つの枳で受け、そのまま宅内(庭等)地下土壌へ浸透させ処理する設備

自宅の単独浄化槽は特に古い型式のため、なんといわゆる「流せる掃除シート」が流せない仕様。雑排水浸透枳も上記の仕組みのため、細かいゴミも極力流さないようにするなどの配慮が必要です。自分は環境保全に関心があり、以前から流せる掃除シートは使わず、洗剤類も生分解率の高いものを選んでいますが、これが近年広く一般的な清掃方法や洗剤を用いるとどうなるか…この点を考えると、できるだけ早く町内で、全国で、合併浄化槽への切り替えが進むようにと願います。

豊かな自然と永く愉快地に共存したい

紀北町は、基幹産業である漁業を支える海、世界遺産の熊野古道や多くの峠を有する山々、透明度で名高い銚子川を代表に多くの河川にも恵まれ、どれもとびきりの美しさ豊かさを誇る自然環境です。

また年間通して祭事も多く元気な土地柄で、自給自足とまではいきませんが、ときにはお裾分けで食事が賄えるような有難い日もあるなど、人の温かい繋がりが今も生きています。

私もこの恵まれた自然や、温かい地元の皆さんと永く愉快地に暮らし続けるには、例にあげた身近な排水処理設備はもちろん、都市部同様にある様々な環境課題について当事者意識を忘れず、考え続けていく必要があると思っています。

夏は一段と緑や水面の輝きが映え、沢山のレジャーも楽しめる紀北町。みなさんも、ぜひ遊びに来てみてくださいね！



熊野古道(馬越峠石畳)



「奇跡の清流」と謳われる銚子川



燈籠祭(本年は7月22日開催)

RepairFactory (株)本杉工機

京都府久世郡久御山町田井新荒見 220 番地

tel : 0774-66-6254

紀北町 地域おこし協力隊(移住・定住促進担当) 塚越美奈子

<https://www.facebook.com/kihokuchioko/>